

採点表

(4) 工事監督支援業務 ① [監督員用]

(1/2)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目		
			標準								
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2				
プロセス評価(1)	専門技術力	目的と内容の理解 当該業務の主旨を十分に理解しているか？	100	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 #=1⇒「0.4」 #=2⇒「0.6」 #=3⇒「0.8」 #=4⇒「1.0」					100	1	・当該業務の目的、内容が理解されていた。
				1	・業務計画書に記載された内容を的確に理解していた。						
				1	・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。						
				1	・提出資料等に当該業務の特徴、注意すべき事項などが適切に記述されていた。(担当路線・河川等の地域特性など)						
		小計	100						100		
	的確な履行	法令・技術基準の知識は十分か？	33.3	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 #=1⇒「0.4」 #=2⇒「0.6」 #=3⇒「0.8」 #=4⇒「1.0」					33	1	・業務に必要な法律・政令・通達等が十分に理解されていた。
				1	・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。						
				1	・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件が十分に理解されていた。						
				1	・業務上必要となる、図面及び技術的資料について留意すべき、専門的知識を十分有していた。						
	的確な履行	業務内容についての判断は的確か？	33.3	評価細目チェック数 =0⇒「0」 #=1⇒「0.2」 #=2⇒「0.4」 #=3⇒「0.6」 #=4⇒「0.8」 #=5⇒「1.0」					33	1	・業務着手時点において、業務に必要な資料等が整備されていた。
				1	・業務遂行段階で、業務に必要な資料収集がなされていた。						
				1	・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。						
				1	・業務遂行段階において発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。						
	的確な履行	関係者とのコミュニケーションは適切か？	33.3	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 #=1⇒「0.4」 #=2⇒「0.6」 #=3⇒「0.8」 #=4⇒「1.0」					33	1	・日々の業務内容を監督員等に報告するなど常に連絡を密にしていた。
				1	・緊急性のあるもの、ないものとの判断が適切に行われ、監督員等に分かりやすく伝えられた。						
				1	・現場での問題点などを迅速に監督員等に伝え、問題解決に繋がる提案をした。						
1				・関係者(工事請負業者等)との対話を心がけ、トラブルがなかった。							
業務目的の達成度	必要事項が適切に記載されているか？	66.7	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 #=1⇒「0.4」 #=2⇒「0.6」 #=3⇒「0.8」 #=4⇒「1.0」					67	1	・契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。	
			1	・監督員等からの指示事項が、漏れなく実施された。							
			1	・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。							
			1	・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し十分な業務成果が得られた。							
業務目的の達成度	業務に求められる確実な取りまとめがされているか？	33.3	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 #=1⇒「0.4」 #=2⇒「0.6」 #=3⇒「0.8」 #=4⇒「1.0」					33	1	・業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。	
			1	・業務上作成する資料について、十分な理解の上で、適切に取りまとめられていた。							
			1	・業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現となっていた。							
			1	・業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。							
管理技術力	業務実施体制の的確性 業務実施体制は的確か？	100	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 #=1⇒「0.4」 #=2⇒「0.6」 #=3⇒「0.8」 #=4⇒「1.0」					100	1	・業務計画書等、必要書類が遅滞なく提出されていた。	
			1	・当該業務に必要な資格取得者が適切に配置されていた。							
			1	・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が適切に履行された。							
			1	・履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が確保されていた。							
管理技術力	打合せ内容の理解 発注者との打ち合わせは適切か？	100	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 #=1⇒「0.6」 #=2⇒「1.0」					100	1	・打合せ記録が適切に整理され、遅滞なく作成されていた。	
			1	・受注者内の意思疎通が正確で、指示や打ち合わせ事項が的確に業務に反映された。							
			1								
			1								
管理技術力	指揮系統の迅速性 確実性 情報伝達の基本は守られているか？	100	評価細目チェック数 =0⇒「0」 #=1⇒「0.2」 #=2⇒「0.4」 #=3⇒「0.6」 #=4⇒「0.8」 #=5⇒「1.0」					100	1	・関係者間の情報伝達が遅滞なく、確実に交わされていた。	
			1	・情報伝達の誤認等による問題が発生しなかった。							
			1	・当該業務に関する社内の情報伝達内容が書類により記録されていた。							
			1	・問題が発生した場合のバックアップ体制が確立していた。又は、対応が迅速に行われた。							
小計	300	④、⑤					300				

注1) 採点方法と基準の巻末「採点上の補足について」を参照のこと。

(4) 工事監督支援業務等 ①〔監督員用〕

(2/2)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目			
			優 標 準 劣									
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2					
プロセス評価(2)	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観、発注者側の視点	責任感、積極性、倫理観、発注者側の視点は十分か？	100	評価細目チェック数 =0⇒「0」 #=1⇒「0.2」 #=2⇒「0.4」 #=3⇒「0.6」 #=4⇒「0.8」 #=5⇒「1.0」					100	1	<ul style="list-style-type: none"> 管理技術者、担当技術者として、無責任な姿勢は見られず、発注者を支援する立場としてふさわしい対応をとった。 打合せにおいて、発注者側の視点から確認・解決すべき事項を見逃さなかった。 業務遂行段階において不明な点が生じた場合は、発注者を支援する立場としてとして問い合わせや確認が迅速になされた。 発注者を支援する立場として、関係者に対する対応が適切であるとともに、必要な報告・調整が遅滞なく実施された。 業務の内容・精度を向上させる新たな取組が自主的になされた。
					1							
					1							
					1							
					1							
小 計				100	⑧					100		

注1) 採点方法と基準の巻末「採点上の補足について」を参照のこと。

技術者毎の評定配点チェック表

		技術者の種別	
技術者の有無	1	主任技術者	
	1	担当技術者	
		※「有り」は1を、「無し」は0を入力	
所見(必ず記入)	監督員が所見を記入		

採点表

(4) 工事監督支援業務 ② [担当係長等用]

(1/1)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優 標 準 劣						
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
指示系統の迅速性・確実性	指示系統の迅速性・確実性	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。					100	・指示系統の迅速性が確保されている。
									・指示系統が系統どおり確実に実施されている。
									・情報伝達の誤認等による問題が発生しなかった。
									・問題が発生した場合のバックアップ体制が確立していた。又は、対応が迅速に行われた。
	・関係者間の情報伝達が遅滞なく、確実に交わされていた。								
小計	100	⑦					100		
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観、発注者側の視点	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。					100	・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。
									・当該業務遂行にあたって、取組への積極性・責任感に対して評価できるものであった。
									・地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。
									・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完了させた。
	・その他(理由:)								
小計	100	⑨					100		

注1) 採点方法と基準の巻末「採点上の補足について」を参照のこと。

所見 (必ず記入)	担当係長が所見を記入
--------------	------------

(4) 減点表

① 事故及び不適切な業務による減点〔担当係長用〕

減点項目	減点				減点	減点細目
	口頭注意	文書注意	入札参加停止1ヶ月まで	入札参加停止1ヶ月超		
	-3	-5	-10	-15		
事故及び不適切な業務による減点	上記減点基準を参考に減点を判断する。					必要な配置技術者等の経歴が虚偽であった事実が判明した。
						入札の要件とした配置技術者が配置できなかった。
						入札前に提出した当該業務の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。
						一括再委託（測量・調査等業務委託契約書7条、設計業務委託契約書7条、現場技術業務委託第5条に反する行為）を行った。
						発注者の承諾なしに当該業務に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した。
						打ち合わせ協議または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。
						業務のしゅん工期限を理由なく遵守できなかった。
						産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。
						当該業務において過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。
						当該業務において安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた業務関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。
						仕様書及び契約書の規定を違反する行為を行った。
	その他（理由： ）					
	小計					

② 瑕疵修補及び損害賠償による減点〔担当係長用〕

減点項目	減点		減点	減点細目
	瑕疵修補又は損害賠償の実施	故意又は重大な過失による瑕疵修補又は損害賠償の実施		
	-10	-20		
瑕疵修補及び損害賠償による減点	上記減点基準を参考に減点を判断する。			瑕疵修補又は損害賠償の実施
				故意又は重大な過失による瑕疵修補又は損害賠償の実施
				小計

③ 業務執行に係る過失に伴う減点 [担当係長用]

減点項目	減点	減点	減点細目
	減点細目 1つ該当毎に-3点		
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失 (最大 -15)		業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった
			関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生等の情報連絡等、対応が適切に行われなかった
			業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた
			業務体制に問題があった
			その他 (理由:)
	中立性・公平性に係る過失 (減点は1つまで) (最大 -3)		・中立性・公平性に関して、第三者から苦情があり、請負者に帰する過失があった。
			その他 (理由: 監督員等に対して適切な対応がなされていない。)
	守秘性に係る過失 (減点は1つまで) (最大 -3)		業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した
			その他 (理由:)
	小計		

採点表

(4) 減点表

④ 低入札価格調査における虚偽説明等による減点〔担当係長用〕

減点項目	減点			減点	減点細目
	調査資料等に一部記入ミスがあるとき	調査資料等に多数記入ミスがあるとき	受注者の故意又は重大な過失による虚偽報告の場合		
	調査資料等に軽微な不備があるとき	調査資料等に一部不備があるとき	相当の理由なく期限内に調査資料等の提出がないとき		
	-3	-5	-10		
上記減点基準を参考に減点を判断する。					調査資料等に一部記入ミスがあるとき
					調査資料等に軽微な不備があるとき
					調査資料等に多数記入ミスがあるとき
					調査資料等に一部不備があるとき
					受注者の故意又は重大な過失による虚偽報告の場合
					相当の理由なく期限内に調査資料等の提出がないとき
	小計				

採点表

(4) 工事監督支援業務 ③ [完了検査員用]

(1/1)

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目		
			優 標 準 劣								
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2				
プロセス評価	専門技術力	業務目的の達成度 業務に求められる的確なとりまとめがされているか?	100	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 " =1⇒「0.4」 " =2⇒「0.6」 " =3⇒「0.8」 " =4⇒「1.0」					100	1	・業務上作成、提出すべき資料に漏れが無かった。
				1	・業務上作成する資料について、十分な理解の上で、適切に取りまとめられていた。						
				1	・業務上作成する資料が簡潔で理解しやすい表現となっていた。						
				1	・業務上、入手した情報を総合的に活用し、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。						
	小計	100	③					100			
管理技術力	業務実施体制の的確性 業務実施体制の的確性	100	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 " =1⇒「0.4」 " =2⇒「0.6」 " =3⇒「0.8」 " =4⇒「1.0」					100	1	・業務計画書等、必要書類が遅滞なく提出されていた。	
			1	・当該業務に必要な資格取得者が適切に配置されていた。							
			1	・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が適切に履行された。							
			1	・履行期間を通じて安定的で十分な業務実施体制が確保されていた。							
小計	100	⑤					100				

注1) 採点方法と基準の巻末「採点上の補足について」を参照のこと。

所見 (必ず記入)	完了検査員が所見を記入
--------------	-------------